

科目名：子どもの食と栄養		講義・ 演習		担当教員名： 渡邊 きみ子	
				実務経験： 有	
1年次 後期		2単位		選択必修 / 必修	
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生涯の健康な発育をめざし、各ライフステージの特性に対応した食と栄養を理解する ・保育者として、子どもの精神的な満足やそれぞれの身体的状況、環境等に配慮して食の支援を行えるように、多角的観点から考え、対応できる実力をつける。 ・児童福祉施設での給食をとおして、食育を実践していくスキルを身につける ・特別な配慮を要する子どもについて理解した上で、子どもがどのように食を営む力を育んでいけばよいか、実践へ応用できる支援方法等を習得する 					
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康に果たす食生活の意義を理解する ・人の身体と食の関係を把握したうえで、子どもの成長と食を理解する ・身体的・生理的变化や人を含めた環境とのかかわりのなかで、子どもの食について、乳汁から幼児食等へどのように形態等を移行さ、支援していったらよいか学習する ・食物アレルギー、障害児等の特別な配慮を要する子どもへの理解と対処法を習得する ・食育の基本を学習し、実践へと応用していく 					
授業計画					
1	子どもの健康と食生活の意義1	16	同上/離乳食(12~18か月食)		
2	栄養に関する基本的知識1	17	同上/1~2歳児・3~5歳児の食事		
3	栄養に関する基本的知識2	18	同上/幼児期の食事と間食		
4	栄養に関する基本的知識3	19	同上/学童期・思春期等の発達と食生活		
5	日本人の食事摂取基準等	20	特別な配慮を要する子ども/食物アレルギー		
6	子どもの健康と食生活の意義2	21	同上/食物アレルギー2、疾病・体調不良		
7	家庭や児童福祉施設における食事と栄養1	22	同上/障害のある子どもへの対応		
8	子どもの発育・発達と食生活/妊婦・授乳期	23	家庭や児童福祉施設における食事と栄養2		
9	同上/乳児期の食生活	24	家庭や児童福祉施設における食事と栄養3		
10	同上/調乳法等	25	子どもの発育・発達と食生活/生涯発達		
11	同上/離乳期の発達と食生活	26	同上/弁当と食事バランス		
12	同上/幼児期の発達と食生活	27	食育の基本と内容/食事の意義・目的等		
13	同上/離乳食(5,6か月食)	28	同上/食育の計画・実践・評価・改善等		
14	同上/離乳食(7,8か月食)	29	同上/食育の環境と地域・職員間の連携		
15	同上/離乳食(9~11か月食)	30	保育者の責務・役割		
<p>テキスト 松本峰雄監修：子どもの食と栄養 演習ブック、ミネルヴァ書房、</p>					
<p>参考書等 日本健康・栄養システム学会監修：子どもの「食べる楽しみ」を支援する、 厚労省：保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 2011・2117 保育所における食事の提供ガイドライン 2018</p>					
<p>評価の方法 授業態度 25% 課題・レポート 25% 定期試験 50%</p>					